

2022年12月30日

各 位

株式会社三井住友銀行

株式会社大和三光製作所に「SDGs推進融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、株式会社大和三光製作所（代表取締役社長：大和輝明）に「SDGs推進融資」を実施いたしました。

「SDGs推進融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDGs（※）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDGs貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDGsの取組推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、株式会社大和三光製作所については、以下に記す事業を通じて、SDGsの目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

- ① 乾燥機の開発・製造・販売による、バイオマス発電向け木質チップ・ペレットの高品質化、及び生活雑排・汚泥等の有効利用

目標 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	7.3 2030年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる。
目標 12 つくる責任 つかう責任	12.5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。

- ② 資格取得の奨励など人材育成への注力による、従業員の働きがいの向上、及び地域の中小企業との連携による、地域経済の活性化

目標 8 働きがいも 経済成長も	8.5 2030年までに、若者や障害者を含むすべての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、ならびに同一価値の労働についての同一賃金を達成する。
	8.3 生産活動や適切な雇用創出、起業、創造性及びイノベーションを支援する開発重視型の政策を促進するとともに、金融サービスへのアクセス改善などを通じて中小零細企業の設立や成長を奨励する。

三井住友銀行では、「SDGs推進融資」により、本業を通じ、SDGsが達成される社会の実現に貢献をしております。



当社製品は、廃熱・廃蒸気・バイオマス燃料等が利用され、また、バイオマスの再生可能エネルギー用加工物の効率化を目指す商品群を揃えています

福島県主催の「REIF ふくしま」展示会会場で「カーボンゼロ・SDGs」を毎年、福島県下の工業高校生(約 300 名)に PR 活動で指導を行っています

弊社大和輝明社長が地域(矢吹町)で SDGs 懇話会を立上げ、小学生を含む、地域活動に取り組んでいます

<ご参考>

※ SDGsとは

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を 2030 年までに目指す 17 の目標と 169 のターゲットのことです。

以 上